

### 紡織が殊勲の星！ 大同の連勝にストップ!!

#### ～第33回日本ハンドボールリーグ第10週～

第33回日本ハンドボールリーグ第10週は男子5試合が行われ、首位の大同特殊鋼がトヨタ紡織九州に27-33と苦杯をなめ、開幕からの連勝がストップした一方、勝点15で2位に並ぶ大崎電気と湧永製薬は順当に白星を積み上げた。

愛知での大同-紡織戦は、立ち上がりからリズムに乗り切れず、ミスを生発する大同に対し、紡織は速攻に加えてセットでもバックプレーヤー陣の活躍で27分過ぎには17-9と8点差をつけた。その後、大同は白を投入しリズムを取り戻そうとするが紡織の勢いは止まらず、18-11の7点差で前半を終了。後半に入り、大同は徐々にペースを取り戻し、4分には5点差まで詰め寄ったが、7分過ぎに白が失格になり試合は荒れ模様。両チームともに7mスローや退場を生発する展開が続き、15分を過ぎても点差が詰まらない大同は、焦りから再びミスが多くなり、着実に加点した紡織に白星を献上した。後半、ともにミスやラフプレーが多くなり、好勝負に水を差したのは残念だった。

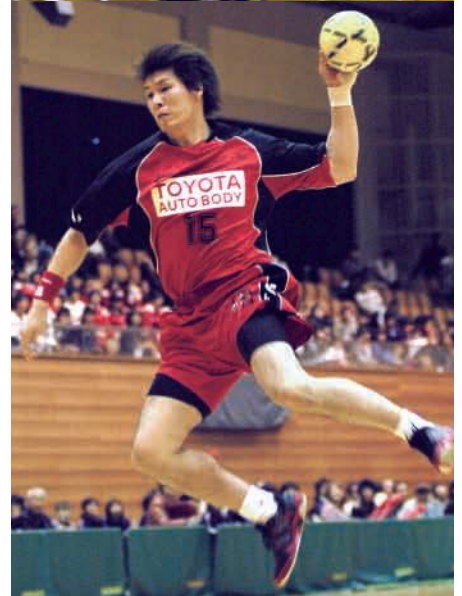
沖縄での大崎-琉球コラソン戦は、高さ、パワーに勝る大崎に対し、琉球も高いディフェンスでミスを誘い、速攻につなげる展開で応戦。両GKの好セーブもあり、前半18分まで8-8と互角の展開だったが、琉球のセットプレーを守り、速攻につなげた大崎が徐々に離して16-10でUターン。後半3分、琉球・田場が負傷で戦列を離れると、じわじわと得点差が開き、15分には29-18と大崎が大量リード。その後も大崎は攻撃の手をゆるめることなく加点して試合を決めた。

福井での北陸電力-湧永戦は、相手のミスを生発した湧永ペースで試合が進んだ。北電は湧永の連続退場に乗じて反撃したものの、相手の高さを活かした一線ディフェンスを攻め切れずに苦戦。湧永も北電の3-2-1ディフェンスに攻撃の決め手を欠く場面があったが、前半20分過ぎから東長濱のカットインなどでペースをつかむと前半を12-5と7点リードで折り返した。後半立ち上がりは北電が2連取したが、東長濱のロング、新のサイドなどで20分までに3度の4連取でスパートをかけた湧永が、好セーブを生発したGKトリオの活躍もあって33-16と快勝した。

そのほか、ホームで豊田合成の挑戦を受けたHondaは、柳本の7mスロー、野嶋のカットイン、速攻などで主導権を奪い、13-8と5点差をつけて前半終了。後半開始早々、合成は今村のカットイン、中村、加藤らの速攻で1点差まで追ったが、6分過ぎに横地のカットインで落ち着きを取り戻したHondaはここから加速、柳本の速攻、竹田のカットインなどで18分までに4連取、その後も11得点をマークした柳本、GK兼浦らの活躍もあって危なげなく逃げ切った。

車体も手堅いディフェンスとGK陣の好セーブで開始7分6-0とトヨタ自動車を圧倒。21-9と車体の大量リードで迎えた後半も試合の流れは変わらず、車体がコートプレーヤー全員得点の猛攻で42-19と圧勝した。

次週も男子のみ5試合が行われ、大分での車体-Honda戦などプレーオフ進出への息を削る上位チームの戦いに注目が集まる。



①大同の連勝にストップをかけたトヨタ紡織・海道  
②トヨタ車体・鶴谷の速攻シュート

### 第11週の日程

11月23日(日)	福井: 北陸電力福井体育館フレア (えちぜん鉄道「観音町」徒歩5分)	13:00~(男)	北陸電力 × 大同特殊鋼
	高知: 高知県民体育館 (JR土讃線高知駅バス10分)	13:00~(男)	琉球コラソン × トヨタ紡織九州
		14:40~(男)	湧永製薬 × 豊田合成
	大分: 別府市総合体育館 (JR日豊本線別府駅バス「べっぷアリーナ前」徒歩5分)	13:00~(男)	トヨタ自動車 × 大崎電気
		14:40~(男)	トヨタ車体 × Honda



Honda・竹田

◆ 11月15日(土) 男子  
福井・北陸電力福井体育館フレア

湧永製菓	33 ( 12- 5 )	16	北陸電力
8勝1分2敗	( 21-11 )		4勝0分7敗
K 志水	西田 K		
2/ 2 坂本	高橋 2/ 7		
2/ 5 山中	神田 3/11		
2/ 6 福田	落合 2/ 4		
1/ 1 吉田	桜井 1/ 4 2/4		
0/ 1 名嘉	前田 1/ 5		
1/1 6/ 8 東	高山 0/ 1		
<2/4> K 坪根	杉山 4/ 5		
5/ 5 新	表 0/ 0		
4/ 5 武藤	山原 1/ 3		
K 松村	亀田 0/ 0		
0/ 0 古家	丸山 K <0/3>		
2/ 3 山口	有江 K		
2/2 6/13 東長濱			
3/3 30/49	9 (FPP) 5	14/40 2/4	
審判 (佐路・佐藤)		観客 450人	

◆ 11月15日(土) 男子  
三重・鈴鹿市立体育館

Honda	28 ( 13- 8 )	18	豊田合成
4勝0分7敗	( 15-10 )		2勝0分9敗
1/ 3 中谷	大立 K <1/1>		
4/10 鶴本	原 1/ 1		
3/3 8/13 柳	後藤 0/ 0		
1/ 1 河瀬	大橋 1/ 6 0/1		
5/11 竹田	桶谷 0/ 1		
0/1 4/14 横地	加藤 1/ 3		
0/ 0 伊藤	大植 0/ 0		
0/ 0 青藤	渡久山 2/ 7 0/2		
K 吉村	今村 4/12 1/1		
0/ 1 瀬元	中村 4/ 6		
2/ 5 野嶋	芳仲 1/ 1		
0/ 1 高木	藤堂 K <0/3>		
<3/4> K 兼浦	米本 1/ 3		
K 四方	中 2/11		
3/4 25/59	13 (FPP) 8	17/51 1/4	
審判 (黒木秀・黒木龍)		観客 350人	

◆ 11月15日(土) 男子  
沖縄・浦添市民体育館

大崎電気	38 ( 16-10 )	26	琉球
8勝1分2敗	( 22-16 )		コラソン
2/ 3 小澤	宮城 3/ 5		2勝0分9敗
4/ 5 前田	久高 0/ 0		
2/ 6 中川	村山 4/ 7 3/5		
1/ 1 永島	棚原 0/ 0		
5/ 8 太田	岡田 2/ 4		
1/ 1 酒井	池田 0/ 0		
K 濱口	志慶真 1/ 2		
3/3 3/ 7 岩永	内田 K <0/3>		
1/ 4 東俊介	水野矢 0/ 1		
<3/7> K 石原	内山 3/ 4		
0/ 1 秋山	田場 0/ 5 1/2		
1/1 3/ 3 内田	高田 3/ 9		
4/ 5 猪妻	石田 K <0/1>		
8/10 宮崎	水野紀 6/ 9		
4/4 34/54	5 (FPP) 9	22/46 4/7	
審判 (家永・福島)		観客 1253人	

◆ 11月16日(日) 男子  
愛知・東海市民体育館

トヨタ車体	42 ( 21- 9 )	19	トヨタ
7勝1分3敗	( 21-10 )		自動車
<1/1> K 木下	増田 K		
1/ 2 田中	坂口 3/ 5		
5/ 5 佐々木	岩野 0/ 5		
2/ 5 高智	高野 0/ 0		
3/3 0/ 0 野村	栗崎 4/10		
2/ 2 藤田	小林 0/ 0		
1/ 3 北出	多和田 3/10		
<0/4> K 田平	佐藤 K		
3/ 3 長谷川	澤田 0/ 0		
7/12 鶴谷	出會 2/ 3		
0/1 6/ 7 香川	稲本 K <1/4>		
2/ 4 崎前	光増 2/10		
4/ 6 銘苺	福田 0/ 2 4/5		
6/11 門山	福山 1/ 7		
3/4 39/60	11 (FPP) 4	15/52 4/5	
審判 (小林・土屋)		観客 971人	

◆ 11月16日(日) 男子  
愛知・東海市民体育館

トヨタ紡織	33 ( 18-11 )	27	大同特殊鋼
7勝1分3敗	( 15-16 )		10勝0分1敗
<0/2> K 松野	松林 0/ 0		
8/13 中嶋	末松 4/ 9 4/4		
0/ 0 西端	富田 2/ 2		
6/ 9 村上秀	地引 3/ 7		
5/10 呉相民	武田 4/ 5		
0/ 0 佐久間	大田 0/ 0		
0/ 0 鶴田	高木 K <2/4>		
5/ 5 海道	李才佑 1/ 2		
3/ 7 阪	千々波 1/ 2		
<0/2> K 谷川	山城 2/ 4		
0/2 2/ 4 鈴木	東 K		
2/2 0/ 1 藤山	白元詰 3/ 4		
0/ 0 船木	松永 0/ 0		
2/ 2 泉原	渡久川 3/ 3		
2/4 31/51	11 (FPP) 10	23/38 4/4	
審判 (池淵・檜崎)		観客 1068人	



# 湧永製菓

## 地元から日本リーグ選手を！

湧永レオリックの本拠地、安芸高田市甲田町。「ハンドボールのまち」として、また特産物の「梨」が有名な自然豊かな町です。

その地元甲田町で湧永レオリックは、3つの小学校で現役選手が中心となってハンドボール教室を行っています。

初めてハンドボール教室が開催されたのは、1979年(昭和54年)。30年近くが経過した今も週1回開講しています。その後、小学校でのハンドボール教室の評判が高まり、保護者・学校関係者などからの要望で1991年(平成3年)甲田中学校にハンドボール部が創部され、ここでも湧永レオリック関係者による指導の下、子供たちが練習に励んでいます。その結果、今では広島県内で常に優勝を争えるチームに成長しました。

そんな中、今シーズン、小学校でのハンドボール教室を受

講し、甲田中学校ハンドボール部で活躍した坂本伸博選手が湧永レオリックに入部しました。地元初の日本リーグ選手として甲田町民から寄せられる期待も大きく、現在も受講してくれている小学生や中学生たちの大きな目標となっています。

今後も湧永レオリックは、ハンドボールの普及、未来の日本リーグ選手が地元から生まれることを期待して小学生のハンドボール指導を続けていきます。



地元の子供たちを指導する湧永セブン



# 男女個人賞レース 第10週終了

## 《男子》

## 《女子》

### 得点王

1 末松 誠 (大同特殊鋼)	83点 (11試合)	1 上町 史織 (北國銀行)	79点 (9試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	79点 (11試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	70点 (9試合)
3 柳本 義文 (Honda)	75点 (11試合)	3 樋口 真央 (ソニー)	55点 (9試合)
3 宮崎 大輔 (大崎電気)	75点 (11試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	48点 (9試合)
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	71点 (11試合)	5 洪 廷 昊 (オムロン)	46点 (9試合)
6 東長濱 秀作 (湧永製薬)	65点 (11試合)	6 東濱 裕子 (オムロン)	44点 (9試合)
7 竹田 寛明 (Honda)	62点 (11試合)	7 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	42点 (9試合)
8 内田 雄士 (大崎電気)	57点 (11試合)	8 横嶋 かおる (北國銀行)	40点 (9試合)
9 門山 哲也 (トヨタ車体)	54点 (11試合)	9 高栖 由香 (ソニー)	36点 (9試合)
10 光増 由矢 (トヨタ自動車)	53点 (11試合)	9 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	36点 (9試合)
11 中村 晃己 (豊田合成)	52点 (11試合)	9 李 キョンミン (メイプルレッズ)	36点 (9試合)
11 新 建 二 (湧永製薬)	52点 (11試合)	12 城内 真紀 (オムロン)	35点 (9試合)
11 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	52点 (11試合)	12 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	35点 (9試合)
14 白 元 喆 (大同特殊鋼)	51点 (11試合)	12 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	35点 (9試合)
14 高 田 匠 (琉球コラソン)	51点 (10試合)	15 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	34点 (9試合)

### フィールド得点賞

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	75点 (11試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	68点 (9試合)
2 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	71点 (11試合)	2 佐久川 ひとみ (オムロン)	46点 (9試合)
3 末松 誠 (大同特殊鋼)	70点 (11試合)	3 洪 廷 昊 (オムロン)	45点 (9試合)
4 柳本 義文 (Honda)	58点 (11試合)	3 上町 史織 (北國銀行)	45点 (9試合)
4 竹田 寛明 (Honda)	58点 (11試合)	5 東濱 裕子 (オムロン)	44点 (9試合)
6 村山 裕次 (琉球コラソン)	57点 (11試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	40点 (9試合)
7 門山 哲也 (トヨタ車体)	54点 (11試合)	7 高栖 由香 (ソニー)	36点 (9試合)
8 光増 由矢 (トヨタ自動車)	53点 (11試合)	7 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	36点 (9試合)
9 中村 晃己 (豊田合成)	52点 (11試合)	9 城内 真紀 (オムロン)	35点 (9試合)
9 内田 雄士 (大崎電気)	52点 (11試合)	9 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	35点 (9試合)
9 新 建 二 (湧永製薬)	52点 (11試合)		
9 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	52点 (11試合)		

### シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 中村 晃己 (豊田合成) 52点/69射 0.754	1 横嶋 かおる (北國銀行) 40点/54射 0.741
2 内田 雄士 (大崎電気) 52点/73射 0.712	2 佐久川 ひとみ (オムロン) 46点/64射 0.719
3 末松 誠 (大同特殊鋼) 70点/106射 0.660	3 城内 真紀 (オムロン) 35点/51射 0.686
4 柳本 義文 (Honda) 58点/91射 0.637	4 高栖 由香 (ソニー) 36点/55射 0.655
5 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州) 71点/116射 0.612	5 洪 廷 昊 (オムロン) 45点/78射 0.577

### 7mスロー得点賞

1 村山 裕次 (琉球コラソン) 22点 (11試合)	1 上町 史織 (北國銀行) 34点 (9試合)
2 渡久山 慶一 (豊田合成) 19点 (11試合)	2 樋口 真央 (ソニー) 27点 (9試合)
3 福田 拓馬 (トヨタ自動車) 18点 (11試合)	3 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス) 23点 (9試合)
4 柳本 義文 (Honda) 17点 (11試合)	4 吉田 祥子 (オムロン) 19点 (7試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州) 16点 (10試合)	5 植垣 暁恵 (メイプルレッズ) 13点 (9試合)

### 7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 兼浦 裕也 (Honda) 7本/14射 0.500	1 田代 ひろみ (北國銀行) 9本/18射 0.500
2 高木 尚 (大同特殊鋼) 8本/18射 0.444	2 毛利 久美 (バイオレットアイリス) 5本/17射 0.294
3 東 佑 三 (大崎電気) 8本/19射 0.421	3 近藤 澄江 (HC名古屋) 8本/31射 0.258
4 田平 龍太郎 (トヨタ車体) 14本/37射 0.378	4 藤間 かおり (オムロン) 6本/25射 0.240
5 石原 秀久 (大崎電気) 6本/18射 0.333	5 中島 亜樹 (ソニー) 3本/13射 0.231

出場停止処分 大同特殊鋼・白元喆選手

11月16日・トヨタ紡織九州戦での失格により、1試合の出場停止処分を適用。

# 第33回日本ハンドボールリーグ成績表

第10週終了 11月16日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼	30	27	32 34	38 27	27	41	37	40	39	11	10	0	1	20	372	255	117	
2	大崎電気	21	23	20 30	18 33	23	25	19	20	23	11	8	1	2	17	373	285	88	
3	湧永製薬	27 22	27 31	29	28	28	32 33	35	39	27	11	8	1	2	17	323	256	67	
4	トヨタ車体	20 30	32	28	25	36	30	32	43	37 42	11	7	1	3	15	355	285	70	
5	トヨタ紡織九州	18 33	28	26	25	28 30	38	35	38	37	11	7	1	3	15	336	293	43	
6	H o n d a	23	33	21	27	25 25	29	36	27 28	29	11	4	0	7	8	303	306	-3	
7	北陸電力	25	21	18 16	19	32	27	34	29 24	23	11	4	0	7	8	268	340	-72	
8	琉球コラソン	19	22 26	25	21	19	26	32	35	32 42	11	2	0	9	4	299	394	-95	
9	豊田合成	20	21	20	28	19	28 18	27 23	34	31	11	2	0	9	4	269	355	-86	
10	トヨタ自動車	23	23	17	21 19	22	23	22	35 29	19	11	1	0	10	2	253	382	-129	

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイプルレッズ	三重ハイオレットアイリス	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	30 29	22 25	31 34	33	36 36	9	7	1	1	15	276	190	86	
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 31	22 23	22 21	18	12 14	9	7	0	2	14	267	202	65	
3	北國銀行	30 29	23 22	21	21 22	17 17	9	6	1	2	13	243	181	62	
4	広島メイプルレッズ	22 23	23 22	29 28	28 30	38	9	3	0	6	6	200	232	-32	
5	三重ハイオレットアイリス	22 21	21	21 14	22 16	37 26	9	3	0	6	6	187	228	-41	
6	H C 名古屋	31 34	34	29 28	16 19	22 19	9	0	0	9	0	155	295	-140	

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。